

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	VI	一般事務	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	----	------	-----------

事業名	695	生活保護世帯扶助費等経費	区分	01	一般会計
基本施策	07	老後の生活や低所得者の自立を支える	コード	03	民生費
施策	1	低所得者福祉の充実	項目	01	社会福祉費
			目	02	民生事業活動費
			細目	101	民生事業活動経費
			細々目	02	生活保護世帯扶助費等経費
基本計画該当頁	73-74	担当部課	コード	603000	評価者
行革大綱の重点事項番号	6	名称		鳥ヶ原支所住民課	氏名
					山本 繁昌
					連絡先
					59 - 2163 (内線) 30

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	当市に滞在し、又は当市を通過する途上の旅行者で、やむを得ない事情に事情により運賃又は食費等を所持せず、かつ換金する物品がない等前途の旅行が出来難い者であつて、当市に対して緊急的に旅費の支給を求めた者	一定の旅費等保護費を支給することによって、行旅の継続が可能となる。
	(※対象件数)	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市旅行者旅費等保護費支給事務取扱要綱
事業内容	旅行者旅費等保護費を支給した。支給額は鉄道(鉄道等普通運賃相当額)及び軽食費とする。当支所から東行きはJR鳥ヶ原～JR亀山とし、運賃740円と軽食費160円の計900円とする。西行きはJR鳥ヶ原～JR奈良とし、運賃570円と軽食費160円の計730円とする。	状況変化等
		制度に反して何度も支給を求めてくる旅行者がいるので、制度の内容を説明し理解を求めている。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
支給を求めた旅行者数	回	目標 50 実績 42	目標 50 実績 25	30	30
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
			目標	目標		
			実績	実績		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		
有効性		
達成度	4	支給を求めた旅行者に対してその必要性を確認し、支給をしている。
効率性	3	要綱に基づいて支給するため支給額を変えることはできないが、一人に何度も支給している場合がある。

総合評価

事業の方向性	改善についての取り組み
現状維持	常習的に支給申請する者に対策を講じる必要がある。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
	委託	扶助費			42	扶助費			22	扶助費			28	扶助費			28
	工事																
	進捗率(%)																
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720												
ブルコスト (A)+(B)					762				742				748				748

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	28
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	
	一般財源	42
	計	42
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	22
		28
		28